

大村市景観計画

市民をつつみ込む“のびのび”“ひろびろ”とした
海と山が連続する大村の景観づくり



平成 27 年 4 月 策定
令和 4 年 12 月 改訂

大 村 市

ごあいさつ



私たちのまち大村市は、緑の多良山系から丘陵地と平坦な市街地まで緩やかにつながり、「琴の海」と呼ばれる穏やかな大村湾に面し、海、山、川と豊かな自然に恵まれています。このように市民にとって自然豊かな景観は、まちなみにうるおいやすらぎを与えてくれます。

そこで、平成 27 年 4 月に全市域にわたる良好な景観を守り、育て、創るため、総合的な観点から景観形成を進める考え方や取り組みを示した「大村市景観計画」を策定し、市民、事業者、行政が協力して本計画に基づき景観形成に取り組んできました。

令和 4 年 9 月に西九州新幹線及び新大村駅が開業し、新大村駅周辺まちづくりの進展や進行中のプロジェクトとともに、本市のまちの構造や景観が大きく変化していくこととなり、これを機に第 2 次景観計画を策定しました。

今後は改訂計画をもとに、市民、事業者、行政が協力してこの計画を進め、本市の大切に素晴らしい景観を市民共有の財産として将来の世代に引き継いでまいります。

景観計画の改訂にあたりましては「大村市都市景観デザイン専門家会議」委員の皆様及び市民の皆様に貴重なご意見をいただき、心から感謝を申し上げます。

令和 4 年 12 月

大村市長 園田 裕史